

令和2年度 授業改善推進プラン 音楽科 (大森第三中学校)

昨年度の授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題

実技においては、歌唱への関心意欲は高いが技能の点では、基礎的な発声方法を身につけてはきているが、まだ声量が足りないため、響く声、ブレスを繋げられるようにトレーニングしていく必要がある。さらに、強弱と速度だけに終わらず、楽曲の背景や作曲者の思いから、どのように楽曲が構成されているかを主体的に学習できる授業内容を展開し、音楽表現の工夫や音楽のよさや美しさを味わう学習に生かしていく必要がある。

音楽科の課題と具体的な授業の改善策

観点	現状の分析と課題	具体的な授業改善策
意 関 態 欲 度 心 ・ ・	○全学年とも、明るく元気に意欲的に取り組んでいる。歌唱においてひとりひとり伸び伸びと自信をもって歌唱できるようにさせたい。合唱では全員が協力して取り組んでいるので曲の構成などに関心をもたせより積極的に歌唱させていく。	○正しい発声法を身に付け、個別の声かけなどで自信をもたせる。 ○仲間のよいところを聴く力を身に付けさせ、他者の意見を尊重し、協力しあえるよう指導していく。
表 現 の 創 意 工 夫	○曲の強弱や詩の内容の意味をよく考えながら表現しようとしている。しかし、他者に伝わるまでに至っている生徒は多くない。楽曲や作曲者の背景から音楽を構成している要素を知覚し、創意工夫に生かしていく必要がある。	○理論を中心とした学習で、共通事項の理解と定着を図る。 ○共通事項は常に掲示をし、ワークボードなど使用し、アクティブラーニングをしていくことから、興味をもたせ理解させていく。 ○詩の内容も含めて、曲の構成を自ら考え、表現の工夫に生かすことのできる授業展開を行う。
表 現 の 技 能	○正しい発声を目指しているがまだ頭声発声による響きの統一はできない。曲の構成や詩の意味と強弱の関わりについて説明するとよく理解できる。自らそれらのことに気づくように指導したい。	○正しい発声方法で歌い、全体の響きを感じ取って表現するよう指導する。頭声発声を徹底する。 ○曲の構成やテクスチャから、声部の役割を理解し、音色も意識して歌えるように技能の指導を行う。
鑑 賞 能 力 の	○鑑賞教材に対して興味をもつことができる生徒が多い。普段何気なく聞いている音楽にも音楽の諸要素や、楽器の特徴が盛り込まれていることに自ら気がつけるように導きたい。	○楽曲の背景・作曲者の思いからテクスチャがどのようになっているか、速度や音色など、ヒントを与えながらその曲の要素を感じ取らせるようにワークシートを工夫する。また、自分でプレゼンテーションを行うなどしっかりと理解ができていることを確認する。